

○改めて、朝の挨拶をしましょう。桜っ子の皆さん、おはようございます。

○早いもので、2023年が始まってからひと月が経ち、2月となりました。

今は、1年の中でも一番寒い時季です。そんな中でも、朝や休み時間に、校庭に出て、マラソンをしたり、みんなで長縄をしたり、元気いっぱい遊んだりする桜っ子の姿がたくさん見られます。寒さに負けず、元気いっぱいの姿、とてもいいですね。

○さて、今日は2月2日ですが、明日2月3日は何の日でしょうか。

そうです。「節分」ですね。今日は節分にまつわる話をします。

「節分」は漢字で書くと、季節の「節」に「分ける」と書きます。字が表すように、「節分」は「季節を分ける日」です。季節は、春、夏、秋、冬と4つあるので、それを分ける日も4つないとおかしいのでは？と思うかもしれませんが、実はその通りで、「節分」は1年に4回あります。暦の上の季節の始まりを表す「立春」「立夏」「立秋」「立冬」の前日がそれぞれ「節分」です。その中でも、2月4日の「立春」の前日である、2月3日の「節分」はとても大事にされ、さまざまな催しが行われます。一番有名なのが、「豆まき」です。「鬼は外、福は内」と掛け声をかけながら、豆をまき、鬼を退治するものですが、「実際にお家でやったよ」「テレビで見たことがあるよ」という人も多いと思います。明日の給食は、「節分の豆まき」にちなんで、豆を使った料理が出るようですよ。その他にも、「恵方巻」という太巻きずしを「恵方」と言われる縁起の良い方角を向きながら、黙って食べる、という風習を行う地域もあるようです。

1年に4回ある「節分」のうち、どうして、2月3日の「節分」だけこのようにいろいろなことを行う特別な日なのかと言うと、昔の暦では、立春がお正月、その前日の「節分」が大晦日だったから、とされています。

年末や大晦日に「大掃除」をするように、1年間の災いやよくなかったことなどを「鬼」に例え、それを豆まきで退治して、気持ちよく新年を迎えよう、ということだったのかもしれないね。

「新年」と言えば、始業式の日に「夢」や目標を持ちましょうというお話をしましたが、皆さん、夢や目標は持てましたか？夢や目標が持てたら、今度は、それを叶えるために、今やらなければならないこと、努力しなければならないことは何か、を考えることです。そして、それを行動に移すことです。

校長先生も、1つ行動に移しました。「マラソンの目標」の話をしたと思いますが、3年ぶりに開催される「春日部大風マラソン」を走ることに決めてエントリーしました。

桜川小のすぐ脇の道もコースの一部になっています。そこを走るのが今からとても楽しみです。

皆さんも、一人一人目標や夢は違うと思いますが、それに向けて一人一人が一生懸命に頑張る、そんな2月にしてほしいなと思います。

春はもうすぐです。寒さに負けず、笑顔を忘れず、頑張っていきましょう。

お話を終わりにします。